

News release

2020年4月24日

乾癬患者さん向け Web サイト「SORA -晴れやかソライアスライフ-」 追加コンテンツを公開

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、乾癬^{※1}に関する情報を提供している自社 Web サイト「SORA-晴れやかソライアスライフ-」^{※2}（以下、「SORA」）の情報を更新し、3つのコンテンツを追加しましたのでお知らせします。

URL：<https://www.kyowakirin.co.jp/kayumi/kansen/sora/>

<追加コンテンツの概要>

1. 先生からのソライフアドバイス（動画）



乾癬治療の専門医の先生方からの、晴れやかソライアスライフを送るためのアドバイス動画です。今回、福岡大学医学部 皮膚科学教室 鶴田 紀子先生に出演いただき『医療スタッフとともに歩む「乾癬治療」』についてお話をうかがいました。

2. 脂質は工夫で減らせる！注目の食材〈豚肉〉

今回は豚肉に注目し、調理が簡単な「そうめんチャンプルー」と「豚しゃぶサラダ」を調理方法の動画とともに紹介しています。

また、豚肉や牛肉、鶏肉の部位別の栄養素（脂質やプリン体、ビタミン B₁*）含有量を紹介するコンテンツも追加しました。

*ビタミン B₁ 含有量の表示は豚肉のみです。



3. 卓球選手直伝！お家でできる簡単ストレッチ



乾癬の治療中でも、また家の中でもできる運動として、現在日本実業団リーグで活躍している協和キリン卓球部の選手による「お家でできる簡単ストレッチ」を紹介しています。

SORA では今後も、季節にあわせたレシピを紹介するなど、乾癬患者さんの生活習慣に寄り添うような情報発信をしていく予定です。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

※1 乾癬について

乾癬は、炎症を伴う慢性かつ難治性の皮膚疾患（角化症）で、原因は完全には解明されていませんが、遺伝的素因（体質）に様々な環境因子（ストレス、肥満等）が加わり免疫系に異常が生じ、皮膚に炎症が起きていると考えられています。日本の乾癬患者数は約 43 万人^{*1}との報告があります。皮膚の表皮細胞が異常に分裂・増殖を繰り返し、境界が明瞭な紅斑ができ、次第に盛り上がり、その表面に銀白色の雲母状の皮膚片（鱗屑）を伴い、その一部がポロポロとはがれ落ちるという症状を呈し、痒みを伴うこともあります。細菌やウイルスによる病気ではないため、まわりの人にうつる（感染する）病気ではありません。症状の違いにより、数種類の病型に分類されますが、乾癬の 9 割を占めるのが尋常性乾癬で、頭部、肘、膝など、慢性の機械的な刺激を受けやすい部位に皮疹ができることが多く、全身に広がることもあります。皮疹がいったん消えても再発を繰り返し、長期間の治療を要する完治が難しい疾患です。

*1 Kubota K, et al. BMJ Open 2015;5:e006450. doi:10.1136/bmjopen-2014-006450

※2 SORA-晴れやかソライアスライフについて

協和キリンが 2016 年に公開した疾患情報 Web サイト「乾癬情報ナビ」の追加 Web サイトとして、乾癬の発症や症状の悪化に関係しているといわれる生活習慣にフォーカスし、生活習慣の改善を目的として 2017 年に公開しました。SORA（ソラ）とは「pSOriasis（乾癬） Recovery（回復） Aid（援助）」から名づけ、料理のレシピや、無理なく楽しく継続できる運動、乾癬とメタボの関係性についての情報などを動画やツールを用いてわかりやすく紹介しています。